

(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

白石市立白石中学校

○ 私たちの取組

小学校でのいじめゼロ運動

○ 取組の紹介

白石中学校PSCパトロールが、「毎月10日はいじめゼロの日」と定め、10月10日には白石市立第二小学校、12月10日には白石市立第一小学校でいじめゼロ運動を展開した。

登校する児童に「今日はいじめについて考える日です」と声を掛け、ティッシュを配布した。

白石第一小学校では、興味を持った小学生も途中から一緒に活動し、活動の輪が広がった。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

白石市立白石中学校

○ 私たちの取組

白石駅前でのいじめゼロ運動

○ 取組の紹介

12月2日朝7時から白石駅前です市内4校の白石市PSCパトロール隊員と協力して、白石市いじめ防止月間のPR活動をした。「学校から 社会から いじめをなくそう」を合い言葉に、駅を利用する方に1500個のティッシュを配布した。年に2回の活動だが、白石警察署に応援してもらい毎年実施している。

健全育成ボランティアであり、警察署と連携した防犯活動をするPSCの活動の趣旨にあわせて「社会から」を入れて活動している。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

白石市立福岡中学校

○ 私たちの取組

小学校でのあいさつ運動といじめ防止の呼びかけ

○ 取組の紹介

白石市では毎月10日を「いじめゼロ」の日として設定し、本校ではPSC（健全育成ボランティア）隊員を中心に、いじめ防止のための様々な活動を行っています。いじめフォーラムの「私たちの提案」を受け、本校での取り組みを小学校や地域に広げていくための第一歩として、小学校でのあいさつ運動と防止の呼びかけを行いました。

当日は、小学生も元気よくあいさつを返してくれ、私たちも温かい気持ちになりました。しかし、小学校でいじめ防止の呼びかけをしたのは初めてだったので、「いじめゼロ」と言われてもよく分かっていない子たちもいました。この取り組みを一回で終わらせるのではなく、継続して行っていくことが大切なのだと実感しました。私たち自身も、毎月10日だけでなく、常日頃から「いじめをなくそう」という気持ちをもちながら生活していきたいです。



○ 私たちの取組

- ・ いじめゼロ運動のPR活動（スキー教室での呼びかけ）

○ 取組の紹介

小原中学校では、毎月10日「いじめゼロの日」に「いじめゼロ運動」として、いじめ反対運動のシンボルであるピンクシャツを着用して、いじめのない学校づくりを行っています。

2月に、白石市内のスキー場で行われた「小原小・中学校スキー教室」で、私たちは「いじめゼロ運動」を紹介するチラシを、スキー場のお客様や訓練に来ていた自衛隊員の皆さんに配布しました。

「いじめゼロ運動」とは...？

毎月10日を、「いじめゼロの日」とし、各校でいじめ防止に向けた活動を行っています。

小原中学校では、いじめ反対運動のシンボルである、ピンクシャツを着用し、いじめ防止への意識を高める活動をしています。

また、7月・12月の白石市いじめ防止月間では、白石駅前で4校連携のあいさつ運動を行いました。



地域からそう！
いじめをなくそう！



○ 私たちの取組

文化祭での展示発表

○ 取組の紹介

東中学校文化祭で、PSC 隊員が学校で行っている活動の内容や活動時に実際に着ている T シャツを展示しました。ステージ発表が行われる体育館にコーナーを設け展示したところ、たくさんの小学生や保護者の方々に見ていただくことができました。ポスターだけでなく、実物も展示したことで興味を引くことができたようです。

私たちは PSC という団体を活動しています。これは白石市内の中学生が警察と連携し地域の安心・安全や校内のいじめ防止のために活動しているボランティア団体です。今回の展示を通して小学生や保護者の方々に中学生がいじめ防止に積極的に取り組んでいることがわかっていただけたと思います。

今後、積極的に小学校や地域に広げていくため活動に工夫して取り組んでいきたいと思えます。来年の文化祭では、活動の様子やいじめ防止の寸劇をステージで発表したり、T シャツを実際に着せることで小学生に興味を持ってもらったりしていきたいと考えています。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

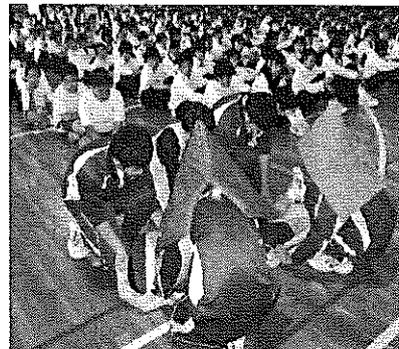
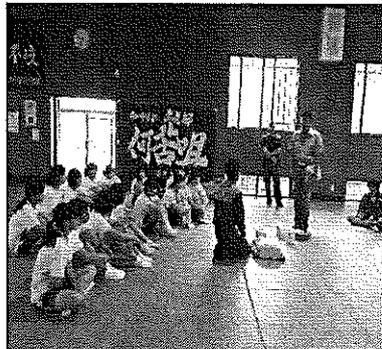
角田市立角田中学校

○ 私たちの取組

「命の大切さを見直そう・・・避難訓練・救命救急講習 等」

○ 取組の紹介

角田中学校では、様々な学習活動を通して「いじめは許さない 大切な命だから」という意識を生徒に持たせてきました。特に、防災教育は、心の防災としてとらえ、年間を通して全学年、全教科・領域等で様々な角度から学習してき



ました。また、避難訓練では、救助活動を体験させ、仲間の命の大切さに触れさせる工夫をしました。さらに、3年生は、防災学習のまとめとして、全員に救命救急Ⅰの資格取得を消防署との連携で行いました。このような活動を通して、命を助けることのすばらしさに目を向けさせながら、「いじめで人を傷つけることなんてできない!」という意識を高めました。生徒の感想にも「こんなに大切な命、いじめはダメだ!」というものがありました。今後も継続していきたいと思ひます。

(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

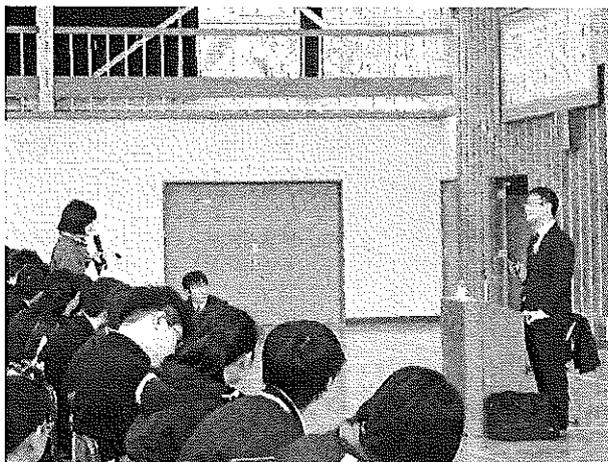
角田市立角田中学校

○ 私たちの取組

「いじめは犯罪のなにものでもない! やめようみんな!」 スクールロイヤー 弁護士講話より

○ 取組の紹介

いじめについて生徒に問いかけると、「いじめはダメなこと。いじめはしていない・・・」の答えは返ってきています。しかし、いじめについて真剣に考えている生徒はどれだけののかと思うこともありました。毎月のいじめ調査を繰り返している中で、上がってくる件数は少ないのですが、「仲間外れにされているような気がする」などの声もありました。そのような中で、いじめによる実態を把握させ、法的な面から本当に人としてダメなことであることを考えさせたいと思ひ、弁護士会に依頼しての講演会、話し合い活動を実施しました。いじめを深く捉えてなかった生徒も、心痛めて自死に至るなどの話を聞き、常日頃、平気で発している言葉が相手の心を傷つけていたことに改めて気づくことができました。今後も生徒が中心となる活動を企画していきたいと思ひます。



小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

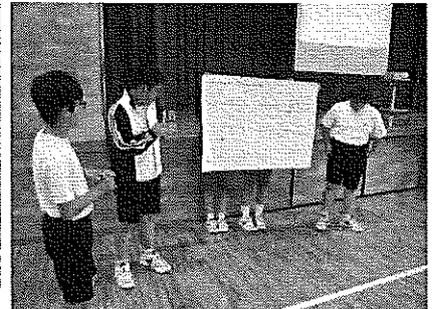
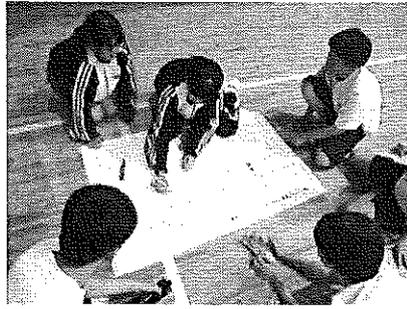
角田市立金津中学校

○ 私たちの取組

いじめノックアウト集会

○ 取組の紹介

私たちはいじめノックアウト集会を毎年行っています。具体的な事例を基に、「いじめとなる原因を徹底的に洗い出す」、「解決策を具体的に考える」、「未然に防ぐためにできることを考える」の3つを中心に、各学年、生活班に分かれて話し合い、発表しています。具体的な防止策は難しいようで意見が少なかったのですが、こうすればよかったという、意見は多く出されました。また、事例を他人事ではなく、自分事として置き換えることが大切だと気づくことができました。



小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

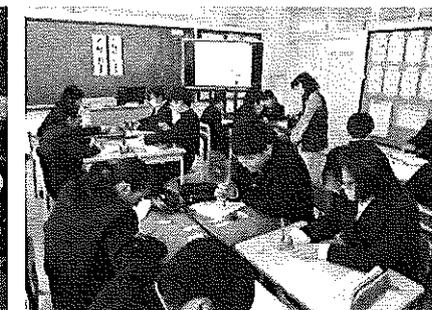
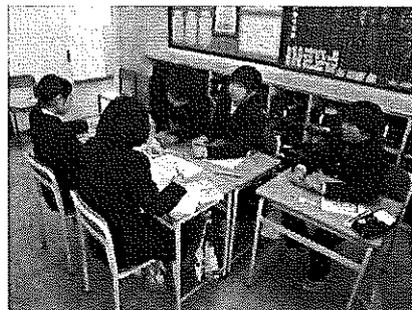
角田市立金津中学校

○ 私たちの取組

人権教室

○ 取組の紹介

毎年、大河原人権擁護委員の方々をお迎えして、人権教室を開催しています。今年は1学年に絞って行われました。今回のテーマは、古川学園中学校1年生の「小さなからかいから」という実際の人権作文をテーマに話し合いを進めました。普段の何気ない言葉遣い、些細なことでも自分には関係ないということはない、いじめを生まないクラスや学校にするには…自分たちは何ができるか?ということにそれぞれが意見を出し合い、考えをまとめることができました。最後に人権について、人権擁護委員のからアドバイスをもらいました。さらに道徳「いじめのない世界へ」、学活「適切な自己表現」等の授業と関連して、さらに深めることができました。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

角田市立北角田中学校

○ 私たちの取組

「ハイタッチあいさつ運動」

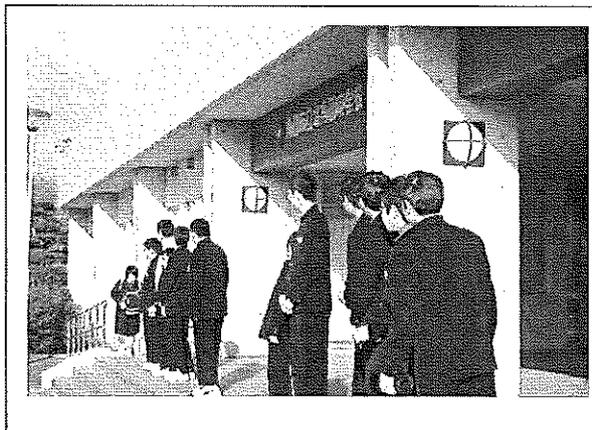
○ 取組の紹介

北角田中学校では、あいさつ日本一の学校を目指して、毎朝部活動ごとのあいさつ運動を行っています。そのあいさつ運動のなかで、ハイタッチをしながらあいさつする「ハイタッチあいさつ運動」週間に力を入れています。

他学年の先輩や後輩、普段話をしたことがない人とハイタッチをするのは、少し恥ずかしいですが、ハイタッチをすることで、心の距離が縮まり、色々な人と話をするできるようになりました。

この取組を行うようになってから、学校の雰囲気はさらに良くなったように感じています。

今後も、いじめを生まない行きたくなる学校づくりのために、生徒会を中心に活動していきたいと思えます。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

角田市立北角田中学校

○ 私たちの取組

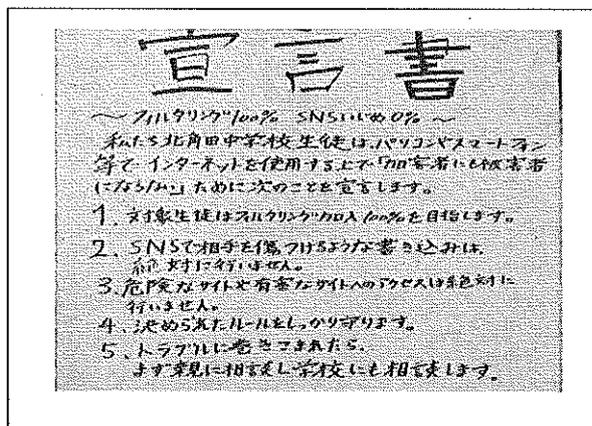
「フィルタリング100%、SNSいじめ0%宣言」

○ 取組の紹介

パソコンやスマートフォン、タブレット等でインターネットを使用する際に、生徒が被害者にも加害者にもならないために、北角田中学校ではフィルタリング100%、SNSいじめ0%をめざし、次の宣言を行っています。

1. 対象生徒はフィルタリング加入100%
2. 相手を傷つける書き込みはしない
3. 危険サイトへのアクセスはしない
4. 決められたルールを守る
5. トラブルは親や学校にすぐ相談する。

この5つを毎年宣言し、生徒一人一人がインターネット、SNSを使う際にトラブルにあわないよう気を付ける取り組みを行っています。



蔵王町立円田中学校

○ 私たちの取組

- ・ 縦割り活動

○ 取組の紹介

・ 円田中学校の特色ある取組として、今年度、生徒会執行部が中心となり、初めて行ったものです。

・ 全校生徒を同じ人数で割り振った縦割り班を形成し、体育館でミニゲームなどを行います。この活動の目的は、1～3年生までの交友を深めるとともに、今年が最後となる3年生に良い思い出を残して卒業してもらうことです。

・ 今年度は、「震源地ゲーム」や「〇〇人の扉」などを行いました。

・ みんなで楽しく行うことができ、運動が苦手な人でも楽しめるものを考え、2か月から3か月に1度、20分を目安に行っています。



蔵王町立円田中学校

○ 私たちの取組

- ・ 体育館開放

○ 取組の紹介

・ 昼休みの時間に、月曜日を除く、火、水、木、金の日替わりで各学年が体育館を自由に使って遊ぶことができるという取組です。けがの防止と混雑防止のために、年に一度、各学年に『体育館開放で遊びたい競技』についてアンケートをとり、使用できる用具を決めています。（けがの可能性が高い用具は使用しないようにし、バスケットボールを行う際は、代わりにバレーボールを使うようにしています。）

・ 生徒会執行部は、ボールに空気を入れる用具の整備、体育館利用の管理、万が一のけがに備えて見守り活動を行います。

・ これにより3年生の運動不足解消、また、学年の友人とのコミュニケーションを図ることができます。バスケットボールやバドミントン、ドッジボールなど、普段なかなかできない活動をすることができるので、みんなが楽しみにしています。いじめの未然防止につながる取組だと考えています。



蔵王町立円田中学校

○ 私たちの取組

- ・「PSC」でのあいさつ運動

P「Police」 S「Student」 C「Cooperation」

○ 取組の紹介

・円田中学校では、毎朝日替わりで各委員会があいさつ運動をしています。あいさつの向上を目的とし、約6人から10人ほどで取り組んでいます。これによりコミュニケーション力の向上を図ることができます。朝から元気なあいさつを行うことによって、一日を元気に過ごすことができます。

・PSCは警察と蔵王町の中学校3校が協力して行っています。一年に一回PSC締結式を行い、その後、地域のスーパーに行ってティッシュを配りながら地域の安全を呼びかけています。

・円田中学校では5のつく日にPSCの旗を持ち、緑のPSCベストを着て、あいさつ運動を7時55分～8時10分に行っています。これにより警察、学校、地域との関係を深め、安心できる学校生活、地域づくりを目指しています。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

蔵王町立 遠刈田中学校

○ 私たちの取組

生徒の考えを取り入れ、みんなでつくる生徒会活動

○ 取組の紹介

生徒の考えを取り入れるための生徒会執行部企画『生徒の声』と『ポジティブボード』を紹介します。

『生徒の声』(会長公約)

2ヶ月に1度、全校生徒にアンケートをとり、その意見を生徒会行事等の企画に反映させる取り組みです。寄せられた声は行事だけでなくよりよい学校生活を送るための提案にも役立てています。

『ポジティブボード』(副会長公約)

生徒一人一人が自分自身や学校を前向きに考えて、それを発信する活動です。毎月テーマを決めて、全校生徒がカードを作成し、ホールに掲示します。みんなのプチ自慢などを休み時間等に楽しく見合い、会話が弾み、お互いを理解しあうことにもつながっています。

この二つの取組は、小6の「中学校見学」の時に紹介したり、行事等の時に保護者や地域の方に見ていただいたりしています。

私たちは、この二つの取組が、一人一人の学校での「居場所づくり」につながっていると感じています。



○ 私たちの取組

いじめ防止標語コンクールの実施

○ 取組の紹介

わたしたちは、「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」を目指して、全校生徒が参加して「いじめ防止標語コンクール」を実施しました。最初にいじめについて、意見を出し合い、クラスメイト全員で標語を考えました。

P T Aの役員に方々にご協力をお願いし、宮城県P T A連合会が主催する「いじめ防止標語コンテスト」にも応募しました。

これからも、私たちは、自分らしく生きていけるよう、友達と心をつなぎ一人一人がかけがえのない命を大切にしながら、いじめをなくすため取組を続けていきたいと思えます。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

七ヶ宿町立七ヶ宿中学校

○私たちの取組

いじめのない学校や、自分たちが思い描く理想の学校づくりについての発信

○取組の紹介

”いじめ”は、誰にでも、ちょっとしたきっかけで起こる可能性があります。また、学校は生徒の多くの思いで作りに上げていくものです。それを全校生徒に意識させるために、生徒会役員が中心になって「どのような学校に通いたいのか？」

「いじめのない学校とは？」等の問いかけを掲示板やプリントを通して発信してきました。その中で「思いやり」の気持ちを持つためには、学級や部活動の仲間と過ごすときには、「相手のことを思い、心のこもった言葉のやりとり」を意識して使うようにしています。これらの活動を積み重ね、全校の生徒が実践できるような取組を行っています。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

大河原町立大河原中学校

○ 私たちの取組

明るく、過ごしやすい学校づくりのための「朝のあいさつ運動」の工夫

○ 取組の紹介

毎週、月、金曜日の朝の時間に、生徒会役員が中心となり、「あいさつ運動」を行っています。テーマは、「明るく過ごしやすい学校づくりのために」です。新生徒会長はあいさつから大河原中学校を変えたいと考えており、役員の生徒もその思いに共感して集まりました。生徒会役員の生徒たちも「まだまだ全校生徒のあいさつへの意識が低いので、この雰囲気を変えていきたい。」と意欲的です。

生徒会長は、「明るいあいさつが飛び交う学校になれば、1日を明るく、気持ちよく過ごすことができると考えて、あいさつ運動をしています。」と、明るい学校づくりのために他の役員と協力しています。

これからは、生徒会の役員だけでなく、他の委員会とも連携しながら、明るいあいさつが浸透するように活動を工夫したいと考えています。朝のあいさつから、明るく気持ちよく過ごすことのできる学校づくりを目指していきます。



大河原町立金ヶ瀬中学校

○ 私たちの取組

○ **取組の紹介** 金ヶ瀬中学校の「目安箱」について。金ヶ瀬中学校では、「目安箱」が設置されています。目安箱とは、生徒に、生徒会や学校生活についての意見を記入してもらうための箱です。「生徒の意見を多くとり入れ、よりよい学校にしていく」「もと、一人一人が意見を出す場所を設ける」という取組により、設置されました。

これまでに投書された、「各教室にアルコール消毒を置いてほしい」「特別教室にゴミ箱がほしい」という意見は生徒会で話し合い、実現することができました。少しづつではありますが意見が実現されたことにより、投書も増え、よりよい学校生活の役に立っています。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

村田町立村田第二中学校

○ 私たちの取組

生徒会新聞「STK」、生徒会誌「荒川」の発行

○ 取組の紹介

生徒会新聞「STK」は、学校や生徒会の行事や取組を紹介する広報誌です。壁新聞形式で作成し、生徒会コーナーに掲示すると同時に、生徒一人一人にも配布しています。生徒会誌「荒川」は、専門委員会や部活動、各種行事への取組や一人一言などを掲載しています。学校生活の中で、それぞれが何を頑張りに、どんなことを感じたのか、みんなに知ってもらいます。

どちらも全校生徒の輝きを発信することを目的としています。表（おもて）で活躍している人の頑張りと、裏（うら）で縁の下の力持ちとして活躍している人の頑張りの両方にスポットが当たるように心掛けています。

近隣の小学校にも掲示してもらい、特に6年生が中学校に希望をもてるようにと願いを込めて作成しています。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

村田町立村田第二中学校

○ 私たちの取組

「モーニングステーション」(全校集会)

○ 取組の紹介

毎週水曜日に、学級委員会の企画で全校集会「モーニングステーション」を行っています。全校生徒で歌を歌う、各学年から前週の反省と今週の目標を発表する、ミニゲームを行うなど、皆が楽しめる企画づくりに努めています。その中で、執行部の企画として全校で取り組んだ「いじめ防止標語」の表彰や生活委員会で行っているあいさつ運動の表彰、図書委員会と協力して図書貸し出し数の発表や表彰なども行います。

また、毎週誕生日の人を紹介して、全校生徒で祝う取組も行っています。

全校生徒の活動・学年の活動・各専門委員会の活動と一緒に「モーニングステーション」は、生徒一人一人の「学校の一員なのだ」という自覚を持たせ、安心感の高まりや学校での居場所づくりに繋がっています。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

村田町立村田第二中学校

○ 私たちの取組

「全校駅伝」(部長会企画)

○ 取組の紹介

部長会の企画として、冬休みに全部活動で合同トレーニングと駅伝大会を行いました。合同トレーニングは、部活動の前半に校庭を全員でランニングする取組です。毎日どのくらい走ったのかを把握できるように記録カードに記入し、個人で目標を立てて体力づくりに励みました。

最終日には、部活動・学年・男女関係なくグループ分けをして、駅伝大会を行いました。たすきに思いを込めて、心を一つにすることができました。

走っている人だけでなく、応援している人もみんなで声をかけ合い、学校が一つになることを実感できました。普段関わりが少ない人とも同じグループになり作戦会議をしたり、互いに応援し合ったりすることで、心の距離が縮まり、その後の学校生活でも話をできる関係になりました。全校駅伝を通して、心も体も成長できたと思います。



○ 私たちの取り組み

有志での校舎清掃活動

○ 取り組みの紹介

私たちの学校では、いじめ防止活動の一環として朝の清掃活動を行っています。この活動は朝7時45分から8時までの15分間、教室や廊下、昇降口など、校内の様々な場所を有志で掃除するというものです。

学校の教室など、身近な場所がきれいになると、気分も良くなります。逆に、汚い場所にいると、心も汚れていってしまいます。いじめなどの問題は、心が汚れてしまい、ゆとりのない生徒によって引き起こされると考えています。学校をきれいにすることで、少しでも生徒の心をきれいに保ち、いじめなどの問題を起こさないようにしていきたいと考えています。

また、この活動を行うことで、生徒間のコミュニケーションが深まり、いじめが起りにくく、誰もが来やすい学校をつくれると考えています。実際の清掃活動の際には、掃除場所の分担や、役割を決めたりなど、コミュニケーションをとる場面が多くありました。その中で、生徒同士の会話が増え、自然と関係が深まっていきました。

会話がが多く、明るく元気で、協力的な雰囲気の学校の方が、いじめは起りにくいはずです。

船岡中学校は、これからも清掃活動を積極的に行い、きれいな環境をつくるとともに心をきれいにし、生徒間の関係を深め、明るく元気な学校をつくっていききたいと思います。



○私たちの取組

【明るい学校や地域を目指して】

・「地域に貢献し隊」活動 ～地域のために奉仕の心で貢献する～

○取組の紹介

槻木中学校では、地区生徒会の活動の一環として「地域に貢献し隊」を今年度から結成しました。各地区の行政区長さんに来校していただき、地区生徒会の話し合い活動と一緒に参加してもらいました。それぞれの地区のニーズに応えられるようにアドバイスを受け、活動を計画しました。

敬老会に参加し、交流を深めた地区。地区防災訓練に参加し、地区の安否確認や防災体験をした地区の運営に携わるなど。地区の歴史を散策して地域の方と交流した地区。地区の廃品回収や清掃活動に参加した地区。地区のお祭りに出店を出品し、参加した地区などその地区のニーズに応えるような活動に取り組んできました。

また、各地区の取組について、各地区の代表生徒から全校集会の場で、活動報告を行い、地域の一員として自覚が持てた、槻木地区に愛着が持てたという感想などが発表されました。

地域の一員として、自分たちの住む地域に貢献していける中学生を目指して、「地域に貢献し隊」の活動を奨励してきました。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

川崎町立富岡中学校

○ 私たちの取組

あいさつ運動

○ 取組の紹介

・毎週月・水・金曜日に行われる挨拶を活性化させるために学級委員会が行う活動。

↓効果

- ・「ベストスマイル賞」「さわやか賞」があるため積極的に笑顔であいさつをする人が増えた。
- ・生徒同士コミュニケーションをとれるようになることで関わりが持てる。
- ・笑顔で明るい学校を持続できる。

⇒ 皆 仲良く いじめ^{ゼロ}!



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

川崎町立富岡中学校

○ 私たちの取組

すずらん活動

○ 取組の紹介

5月に全校生徒で旧校舎に自転車でいき、すずらんを採取する活動。
採取したすずらんは、校外学習や職場体験、修学旅行でお世話になった方に渡します。

- 生徒同士や地域の^{↓効果}の方々の関わりが増える。
- 他学年の生徒とのコミュニケーションが生まれる。
- 地域の人に渡すことで感謝されその喜びを分かち合える。
↓
喜びから笑顔が増え明るく楽しい学校になる。
↓
いじめ〇



小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

川崎町立川崎中学校

○私たちの取組

いじめ防止標語コンクールの全校実施

○取組の紹介

私たちの学校では、これまで希望者のみの参加だった「いじめ防止標語コンクール」を、生徒会主催の全校でのコンクールに変更しました。一人一作品の出品を行い、「全校いじめ防止標語コンクールとして」実施しました。上位入賞者の作品は表彰し、校内に掲示しました。

私たちの学校では、これまでもいじめによる大きな問題は起きてきませんでした。今回の取組で、いじめを生まないための雰囲気づくりが学校全体でできたと思います。これからも、この雰囲気を大事にして、生徒全員が行きたくなる学校づくりを進めていきたいと思っています。

(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

丸森町立丸森中学校

○私たちの取組

- ・あいさつ運動

○取組の紹介

私たちの中学校では台風19号の被害を受け、その復興を中心に活動を進めています。

その上で「学校を活気づける」ということを目的に、生徒会執行部であいさつ運動を始めました。毎週月、水、金曜日の朝、昇降口前に生徒会役員が並び、元気よくあいさつをしています。通る生徒は元気よくあいさつを返してくれます。最近では、あいさつ運動に自主的に参加してくれる生徒が増えたり、火、木曜日には生活委員会でもあいさつ運動を始めてくれたりと、より活発になってきました。

今後はあいさつ運動に協力する人を放送などで呼びかけていくとともに、台風前に企画していた「ありがとうの木」などの活動を進め、元気で笑顔あふれる丸森中を目指していきます。

